

第10代日本語語学指導員が帰国しました おかえりなさい！ 堀川さゆみさん



第 10 代日本語語学指導員 堀川さゆみ（任期 H31.10~R2.8）

堀川さんは、秋田県出身・在住。

約2年間の任期を終えて、今年8月末に無事に帰国されました。しかし、コロナ禍ゆえに、羽田空港近くのホテルに2週間の隔離滞在を余儀なくされ、帰宅したのは9月中旬になりました。

また、今年春頃からは日本語教室もリモートレッスンに変更して行うなど、コロナ禍でも熱心に授業に取り組むとともに、自身のブログ等で常に情報発信も続けてくださいました。堀川さんの2年間の真摯な活動に感謝いたします。お疲れ様でした。

第 11 代日本語語学指導員 戸脇美夢（24歳）

三重県出身、趣味はヨガと絵画。

アメリカの大学を卒業後、秋田県の国際教養大学院に進み、在学中に当会語学指導員に採用となりました。

※戸脇さんは、10月末に渡航いたしました。

活動の様子は、次回会報誌でご紹介します。お楽しみに！

終了しました！

★8/1 コモッセでギャラリー展開催★



8/1(土)～8/15(土)の期間、文化の杜交流館コモッセで「ハンガリー国際交流展」を開催しました。

- ◆ハンガリーと鹿角市の出来事を年表展示。また、ハンガリーと日本の面積や人口、発明品の比較展示。
- ◆オリンピック特集として、各競技の開催県の紹介や、ハンガリーの有力選手の紹介展示。
- ◆ハンガリードナウフォトクラブ撮影のハンガリーの写真展示。
- ◆当会のハンガリーイベント写真展示。
- ◆民族衣装展示。

ハンガリーの魅力をいろいろな角度から紹介しました。来年の東京オリンピックにむけて、ここ鹿角市にたくさんのハンガリーファンが増えますように…。

★月イチ土曜日はハンガリーおしゃべりカフェ★

毎月1回、ハンガリー国際交流員アンディを講師にハンガリーおしゃべりカフェを開催しています。ハンガリー映画を観ながら映画に登場する料理を食べたり、ハンガリーと日本の「お城めぐり」や「ことわざアレコレ」を見たり聞いたり、アンディお手製のゲームで遊んだり、毎回、いろいろなテーマでハンガリーに親しみ楽しくおしゃべりしています。

なかでも10/17(土)は、商店街ハロウィンイベントに参加しました！

「間違い探しクイズに挑戦！」「鹿角産ホクホクかぼちゃのスープはいかがですか！」で訪れた皆さんに楽しんでもらいました。子供たちのいきいきした笑顔にたくさん出会えて嬉しくなりました (^_^) Happy ハロウィン！



※ハンガリーおしゃべりカフェはあと1回、12/19(土)です！

お知らせコーナー！

ハンガリーの藍染め展開催中！

鹿角市の姉妹都市ショプロン市とハンガリーでは、染物文化が受け継がれています。ハンガリーの藍染めの特徴・特色や伝統柄の紹介、藍染めアーティストの作品や研究資料を展示しています。

鹿角の染物文化との違いをご覧ください！

日 時：10/28～11/27 9時～17時

場 所：鹿角歴史民俗資料館

見学料：無料です

Xmasクッキー作成会！



市内にコロナ感染者が認められたため、中止とします

2時

こしたり…

そんな可愛いXmasクッキーをアンディと一緒に作りませんか！



Xmasカード&オーナメント作成会！

参加無料・申込みは必要ありません

日 時：12月5日(土) 11時～15時

場 所：コモッセ こもれび広場

内 容：期間内は、手作りコーナーを設置します
アンディと一緒に、Xmasカードやツリー飾りを作りませんか！



日本語語学指導員帰国報告！

第10代日本語語学指導員堀川さゆみ氏の帰国報告を動画配信します。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、今回の帰国報告は協会ホームページから動画配信の形で皆様にご紹介することになりました。堀川さんの2年間の取組みをどうぞご覧ください。

動画配信スタート：11月20日（金）

鹿角国際交流協会 URL //www.ink.or.jp/~kia/

— 申込みお問合せ 鹿角国際交流協会 事務局 —

住 所：鹿角市花輪字中花輪29 千歳盛酒造(株)内

TEL：0186-22-6088 日曜定休

第10代目日本語語学指導員月帰国報告(抜粋)

堀川さゆみ

★はじめに

第10代日本語語学指導員として2018年10月末～2020年8月末までの1年10ヶ月間、鹿角市の姉妹都市ショプロン(ハンガリー)に滞在し、2019年1月から2020年8月中旬までショプロン市民に日本語を教えた。これまでの留学や国際交流の経験を活かし、意欲的に活動できた。新型コロナウイルス流行等、困難な時期も無事に乗り越え、大変充実した滞在となった。最初はハンガリー語があまり分らなかったため、日本語をうまく教えられるか、伝えたいことが伝えられるか不安だったが、英語やボディランゲージを使って試行錯誤で対応できた。時間が経つにつれて生徒との距離も縮まっていき、自信を持ってレッスンできるようになった。日本語を教えるだけでなく、生徒対象のイベントを企画したり、休日を中心に生徒と交流したりした。ショプロン市とのコミュニケーションも大事にし、良好な関係を続けることができた。ショプロン市役所担当者とはこまめに連絡を取り合い、授業の準備等でほぼ毎日ショプロン市役所に通った。日本語指導のスキルアップのため、国際交流基金ブダペスト日本文化センター主催の研修にも数回参加し、新たな学びを得ることもできた。

★終わりに

2年弱の任期中大変貴重な経験をした。このような機会をいただけて心から感謝している。日本語レッスンの経験や、生徒や友達、ショプロン市役所担当者との交流、パン・ヨーロッパピクニック計画30周年記念式典での思い出は一生の宝物だ。

大学生のときなど留学生の友達に日本語を教えたことはあったが、仕事としてたくさんの生徒に教えたのは初めてだった。日本語教師になるための専門的な勉強をしたことはなく手探りででの挑戦だったが、本や雑誌、インターネットで情報を得ながら、小学校から高校の国語の授業で学んだ文法、漢字、ことわざなどの基礎知識、また新聞や読書、日々の学習で得た言葉の知識を活かしてレッスンをすることができた。滞在中は困難な出来事もあったが、無事に乗り越えることができた。

生徒や市役所の元担当者との交流は、任期の終わった現在でもオンラインで続いている。鹿角市とショプロン市との姉妹都市交流が、これからもずっと続いていくことを願っている。



鹿角国際交流協会